

# **FUKAYA** News Release

## 市長定例記者会見次第

令和 4 年 4 月 26 日 (火)  
午前 10 時 30 分～

### 1. あいさつ

### 2. 発表内容

ページ

- |  |   |
|--|---|
| (1) 【アグリテックビジネスコンテスト】                          | 1 |
| 『DEEP VALLEY Agritech Award 2021』最優秀賞受賞企業への出資等 |   |
| (2) 【深谷市で 2 名の避難民を受け入れ】                        | 3 |
| ウクライナ避難民への生活支援                                 |   |

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和 4 年 5 月 26 日 (木) 午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

## アグリテックビジネスコンテスト 『DEEP VALLEY Agritech Award 2021』 最優秀賞受賞企業への出資等

### ■ 概要

『DEEP VALLEY Agritech Award』は、儲かる農業都市の実現に向けて、農業課題を解決する技術（アグリテック）を深谷市が表彰する取り組みです。

このたび、令和3年度の最優秀賞受賞企業へ出資や協定書の締結を行いました。今後、各企業と関係性を構築しながら共に地域の農業課題解決に向けた取り組みを進めていきます。



現場導入部門最優秀賞【株式会社 Root】



未来創造部門最優秀賞【inaho 株式会社】

### ■ 最優秀賞受賞企業および出資金額等

#### (1) 現場導入部門受賞企業 出資金額：240万円

株式会社<sup>ル</sup>oot<sup>ト</sup>（所在地：神奈川県南足柄市広町 45-1）

代表取締役社長 岸 圭介

《事業内容》 スマートグラス用 AR（拡張現実）農作業補助アプリの開発  
→ 2022年2月に実証実験を開始  
2022年度中にサービス提供開始予定

#### (2) 未来創造部門受賞企業 深谷市で事業を推進する旨の協定書を締結（受賞者の申し出により出資なし）

inaho<sup>イ</sup>株式会社<sup>ナ</sup>（所在地：神奈川県鎌倉市御成町 11-2）

代表取締役 菱木 豊

《事業内容》 ロボットを活用した新たな作型によるアスパラガス産地の創出  
→ 市内での事業展開に向けて調整中

### ■ 問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048 - 577 - 3819

『DEEP VALLEY Agritech Award 2021』最優秀賞受賞企業

## 『スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト』に採択

### ■概要

本市主催の『DEEP VALLEY Agritech Award2021』で最優秀賞を受賞した株式会社R o o tが提案する『スマートグラス用AR農作業補助アプリケーション実用化のための研究開発』が、生物系特定産業技術研究支援センターによるスマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト『戦略的スマート農業技術等の開発・改良』の採択課題として決定しました。

今後、深谷市内での実地テストを実施していきます。市は本実証のコンソーシアムメンバーとして、社会実装に向けて共に本取り組みを推進していきます。

【『スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト』について】

・『生物系特定産業技術研究支援センター』とは：生物系特定産業研究の開発に関する、国が定めた研究戦略等に基づいて行う基礎的な研究開発を、大学、国立研究開発法人、民間企業などに委託することにより実施している機関。研究機関への研究資金提供や委託研究の成果の社会実装への支援などを行っている。

・『戦略的スマート農業技術等の開発・改良』とは：スマート農業技術・機器の開発が依然として不十分な品目や分野を対象に、生産現場のスマート化を加速するために必要な農業技術の開発・改良及びスマート農業に関連した輸出拡大に貢献する栽培技術などの開発を支援するもの。

### ■実証内容

スマートグラス用AR農作業補助アプリにより、『AR直線・ポイント表示による農作業補助』『ARサイズ測定』『乗用機械作業の最適ルート算出→ARガイド表示』の実用化に向けた研究開発を行う。



《スマートグラスを利用して、さまざまな作業効率化を実現する》

### ■コンソーシアムメンバー構成機関

【代表機関】株式会社R o o t 【共同機関】深谷市

### ■問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048 - 577 - 3819

## 深谷市で2名の避難民を受け入れ ウクライナ避難民への生活支援

### ■ 目的等

深谷市は、このたびのロシア連邦によるウクライナ侵攻による、ウクライナからの避難民の受け入れを3月23日に表明しました。

4月25日現在、国内の支援者から14名の受け入れに関して問い合わせをいただきました。

そのうち、2名が現地を出国し、深谷市に向かっていると連絡がありましたので、主な支援内容と併せて報告します。

### ■ 支援内容（前回発表分含む）

① 市営住宅の無償提供（光熱水費無料：電気（ふかやeパワー(株)）、ガス（埼玉ガス(株)）、上下水道（深谷市））

② 生活物資

ア：家電製品 アイリスオーヤマ(株)から寄附

冷蔵庫、洗濯機、サーキュレーター、掃除機、  
電子レンジ、シーリングライト 計6種

※その他は市で準備

イ：家具類 (株)カインズから寄附

カーテン（レール含む）、テーブル、椅子、収納棚、  
ベッド、寝具、キッチン用品、洗濯用品 計8種

ウ：通信環境 (株)ドコモCS 埼玉支店から無償貸し出し

SIMカード10枚（必要に応じてスマートフォン貸し出し）

※モバイルパソコンは希望者に市で貸し出し

エ：日用品 市職員からの寄附

キッチン用品260点、風呂用品633点、  
衛生用品497点、清掃用品9点、その他113点  
計1,512点

③生活支援金の提供

・ 臨時的な生活支援金：10万円（1人・1回限り）

・ 経常的な生活支援金：国が示す支給額（身寄りのないかたについて1人日額2,400円（2人目以降1,600円、11歳以下1,200円）を基に世帯構成等のケースごとに月額支給額を算出

【算出例】（世帯構成別の月額支給額（30日間の場合））

単身世帯	72,000円
2人世帯	120,000円
両親と12歳以上の子ども1人	168,000円

※身寄りのあるかた（支援者と同居するかた）は、国の示す基準がないため市独自に調整。

■室内の様子（赤：アイリスオーヤマ（株）提供、緑：（株）カインズ提供、青：深谷市）



■ その他

避難してくるかたが落ち着いて安心して生活できるよう、個々の状況に応じた対応について、個別に調整してまいります。

■ 問い合わせ先

深谷市役所福祉健康部 福祉政策課 ☎048 - 568 - 5041